

## **2018 年度事業計画書**

(2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日まで)

認定特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎

### 1. 事業活動の方針

1998 年に任意団体として発足したホームホスピス宮崎は、ちょうど**設立 20 年の節目**を迎えました。2000 年に NPO 法人、そして 2015 年には認定 NPO 法人として認証を受け、活動に寄付を有効に活かしていけるようになりました。NPO の財政は多様な財源、すなわち、寄付、会費、助成金（補助金）、事業収入、融資などで成り立っています。資金調達つまり**ファンドレイジング**と言いますが、単に寄付を募ったり会員を増やすことが目的ではなく、活動を通じて社会的な課題を人々に知らせて、みんなで社会をより良くしていくことです。資金を募る過程で、ホームホスピス宮崎（HHM）と人々がつながり、共感の輪が広がって寄付やボランティアといった支援者が増える、あるいはちょっとした生活習慣や他人への態度を変えるということが、社会を、そして未来をより良いものにするのだと考えています。今年**は**ファンドレイジングの機運を作り出したいと思います。

設立当初から、障害があっても、治癒できない病を得たとしても、認知症になっても、その人らしい人生を送ることのできる、**ゼロ歳から百歳まで**安心して暮らしていけるまちづくりを目指してきました。ますます高齢長寿社会が加速する中、ホームホスピス宮崎の果たす役割も大きくなっています。20 年継続されているボランティア活動、ホスピスケアの啓発と、「ホームホスピス®」事業のケアの質向上と、新たな人材を養成していく事業を推進していきます。

長寿高齢社会で多様な居場所が必要です。「これから**ライフデザイン塾**」は、いい顔で暮らし「生き上手」に、納得の「死に上手」になれるように新たな講座を開講します。

**暮らしの保健室**は、いろいろな方々が集う居場所です。「ゆるりサロン」、「えがおキッチン」や「お灸教室」「ゆるり短歌会」など、利用者のリピーターが増えて、取り組みが定着してきました。また、宮崎市「在宅療養支援相談事業」を昨年に引き続き実施します。がんや神経難病などこれ以上の治療はなく、これからの不安を抱えている人の様々な悩みに対してゆっくり話しができるような時間と空間を提供します。

**かあさんの家事業**は、平成 29 年 11 月をもって「かあさんの家憶」を閉鎖いたしました。現在 3 軒で 15～17 名での運営となります。入居希望の方が、経管栄養や CV ポートなどの医療依存度の高い方が増え、急性期病院医療連携室からの問い合わせが増えています。

**訪問看護ステーションぱりおん**の運営の安定を目指します。特に重度の障害を持った小児の在宅療養を支えるための訪問看護を充実させていきます。

**事務局体制の強化**を図り、ファンドレイジングを活かす事業に取り組みます。組織基盤強化策として、会員管理業務、経理業務及び労務管理など就労環境の整備を行い、他団体との連携を図ります。また、一般社団法人全国ホームホスピス協会事務局を担って、全国のホームホスピスとの連携を図ります。

2. 事業の実施に関する事項（今年度は次のような項目を重点的に実施します。）

目的	事業名	事業内容	
① ボランティア活動 (在宅ホスピス支援センター事業)	大切な人を亡くした方の集い 担当：脇坂峰子	毎月第4月曜日午前10時半～ 宮崎教会	
	患者らいぶらり 担当：畠山桂子	第3木曜日 午後2時から4時 古賀総合病院内科病棟・産婦人科病棟 闘病記や絵本などの貸し出し傾聴	
	宮崎聞き書き隊 担当：井上直敬	・依頼のあった方を聞き書きする ・聞き書き例会の開催（第二日曜日） ・細見クリニック回想療法への参加 ・聞き書き学校 in 藤沢（岩手県）への参加 日時：平成30年8月31日～9月2日 会場：岩手県一関市	
	園芸ボランティア 担当：立川志乃	隔週水曜日 午前10時～ ・緩和ケア病棟の庭園の花の管理等	
	ゆるりサロンボランティア ふらっとカフェボランティア	・ゆるりサロンの運営のサポート ・がん患者さんやご家族の傾聴とカフェの運営	
② 教育プログラム	がん患者サポート事業 担当：太田幸子	・ワールドカフェ形式のセッション 「患者の意思決定支援を支える為に」（仮題）	事業委 宮崎県
	創立20周年記念事業	・記念講演と上映会 「地域の中で暮らし、地域で看取る～かあさんの家の実践を通して」 講師：市原美穂 上映：「人生フルーツ」	
	これからライフデザイン塾 ～最後まで豊かな人生を過ごすために～	・連続講座（10月～2月 計6講座） 物語を紡ぐ（小田豊二）、遺言と相続（金子聡） 朗読から（藺田潤子）、人生のしまい方（高橋好香） こころほぐし（山本和美）平穏死（長尾和宏）など	
	ホスピスケア市民公開講演会 実行委員会を設置	「自分の最後は自分で決める！」 日時：平成31年2月3日（日） 会場：宮崎市民プラザ・オルブライトホール 講師：長尾和宏氏 テーマ：「平穏死」10の条件（仮題）	在宅療養 相談事 宮崎市

<p>③ 地域に開かれた活動（エンドオブライフケア支援事業）</p>	<p>ふらっとカフェ （がんサロン事業委託） 担当：太田幸子</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん拠点病院（県立宮崎病院） 毎月第2水曜日開催 サポーターは、研修を修了した方5名 アロマボランティア3名</li> </ul>	<p>事業委託 宮崎県</p>
	<p>暮らしの保健室 ・メダカの学校 ・えがおキッチン 担当：松井康代 ・お灸教室 担当：園田清美 ・ゆるり短歌会 担当：堀越照代</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生きがいつくりのために</li> <li>・包括支援センターとの連携、地域まちづくりの会議</li> <li>・不定期</li> <li>・不定期</li> <li>・第2金曜日10時から12時 短歌集の作成</li> </ul>	
	<p>宮崎市在宅療養支援事業 ・患者と家族のためのよろず相談室 担当：白波さゆり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意思決定支援など、</li> <li>・随時病気や介護の相談を受ける。</li> </ul>	<p>宮崎市</p>
	<p>ゆるりサロン ・音楽療法など 担当：立川志乃</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要介護者、要支援でもなく、自分の身の回りのことはできるが、日中は一人暮らしで誰かと話をすることもなく、食べることもつい億劫になる、そんな方が共に集って、一緒にランチ食べてお茶の間的な居場所となっている。</li> </ul>	
	<p>「街ん中ごちやまぜプロジェクト」の検討 担当：堤育子</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年4月、橘通り東3丁目の実家跡地を宮崎のために活かすことはできないだろうかとの本部氏（かあさんの家のご遺族）の提案を受けて、どんなことが可能かを模索してきた。昨年9月より、月1回のペースで、集まりを持ち、色々な提案を話し合い、具体的な方向性を出す1年になる。</li> <li>・医療的ケア児の在宅療養の環境がまだまだ宮崎では整っているとは言えない。訪問看護ぱりおんでは、そのようなケア児の訪問看護を行い、時折家族のレスパイトなどの支援を制度外で行っている。医療的ケア児や医療的依存度の高い重度介護者が在宅で暮らせる為の活動ができないか。そのために多様な人が多様な利用をして、街の真ん中で過ごすことができる仕組みができないかを検討する。</li> </ul>	

		<p>《先進地視察》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮崎大学地域医療・総合診療医学講座・北陸視察 4/18, 4/19, 4/20：福井市オレンジクリニック、富山大学まちなか診療所</li> <li>・4/25 NAGAYA TOWER 鹿児島市</li> </ul>	
④ かあさんの家事業	<p>かあさんの家の運営 かあさんの家・曾師 かあさんの家・霧島 かあさんの家・月見ヶ丘</p> <p>担当：久保野イツ子</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護スタッフの充足を図る。そのために多様な働き方に対応する環境整備を行う。</li> <li>・家族会の充実と交流会</li> <li>・運営の安定を図る</li> <li>・介護度の平均が要介護4～5の方が多くを占め、職員のケア水準の向上が必要とされています。同時にスタッフの勤務の負担も大きくなって、スタッフ増員が最大の課題です。</li> <li>・防災訓練と地域との連携</li> </ul> <p>*平成30年3月31日までに、消防法の規定によるスプリンクラー設置が義務付けられる。そのために、設置に向けて業者の選定と助成金など得て設置する。</p>	
⑤ 医療・介護保険事業	<p>訪問介護ステーション ぱりおん</p> <p>管理者：甲斐昌江</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人スタッフの介護技術の習得</li> <li>・処遇改善をはかる</li> <li>・内部及び外部研修の実施 スタッフ会議及びカンファレンス</li> <li>・防災訓練（備蓄、消火訓練、避難訓練）</li> <li>・感染症対策</li> <li>・口腔・栄養管理の強化（口腔ケア・食事）</li> <li>・排泄ケアから見えてくること</li> <li>・課題はスタッフの増員である。</li> </ul> <p>【外部研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームホスピス実践者育成塾の受講 総論：5月9, 10日（東京会場） 各論：6月11, 12, 13日（福岡志賀島）</li> <li>・介護食講座（かあさんの家の介護食）</li> </ul>	

	<p>訪問看護ステーション ぱりおん</p> <p>管理者：堤育子</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重度の障害がある小児の在宅療養を支える。</li> <li>・訪問看護のスタッフが不足して、それぞれの負担が大きくなっており、増員を図る。</li> <li>・まちづくりを目指して、ネットワークをつくる。</li> <li>・宮崎小児在宅療養を支える会の運営</li> </ul>	
	<p>地域包括ケアシステムの構築 のための取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療との連携 かかりつけ医、訪問看護ステーション、訪問薬局、訪問歯科との連携</li> <li>・介護サービス事業所との連携 居宅療養支援事業所との連携を密に図る リハビリテーションとの連携 福祉用具、デイサービスなどの介護保険のサービス事業者との連携</li> </ul>	
⑥ ホームホスピス支援事業	<p>日本財団 在宅ホスピスプログラム 研修担当：久保野イツ子</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームホスピス実践リーダー養成プログラム</li> <li>・ホームホスピスリーダー研修生の受入れ機関 研修内容を組み立て計画に添って、指導や相談に乗りながら、ホームホスピス立ち上げまで助言指導する。</li> </ul>	
	<p>ホームホスピス推進センター の事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学生・看護学生・介護職の実習の受け入れ 実習計画を立て、かあさんの家での実習を指導。</li> <li>・研修のためのデスクワークや面接指導などをする</li> </ul>	
	<p>一般社団法人全国 ホームホスピス協会 担当：黒岩雄二 岡田瑞穂</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームホスピスの基準に沿ったのレビュー</li> <li>・ホームホスピス実践者育成塾の開催 第1回・総論 5/9, 5/10 日本財団ビル 第2回・各論 6/10, 6/11, 6/12 休暇村「志賀島」</li> <li>・第6回全国合同研修会の開催 期日：2018年 12月1日、2日 会場：TKP 仙台カンファレンスセンター テーマ：「制度にない制度」を考える 「コミュニティの再生」</li> <li>・理事会の開催</li> <li>・年度社員総会の開催</li> <li>・事務局の機能</li> <li>・ホームページの充実</li> </ul>	事務局の委託

⑦ 研究・啓発・情報・広報	認定NPO 寄付文化の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 賛助会員を増やす</li> <li>・ オンライン寄付システムの導入（会費決済も可）</li> <li>・ ファンドレイジングの活用</li> </ul>	
	「かあさんの家」見学及び研修の受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見学・現場実習等受け入れ</li> <li>・ 研修医の受け入れ（平塚共済病院研修医2年目）</li> <li>・ 他施設職員現場研修の受け入れ</li> </ul>	
	ホームページの充実 制作：黒岩雄二 ニュースレターの発行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページの運営</li> <li>・ 全国のホームホスピスとのリンク</li> <li>・ ニュースレターの発行</li> <li>・ HHMパンフの作成</li> </ul>	
	地域との連携 他の委員会への参加 他団体とのネットワーク  学会・研究会への参加 講師派遣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ キュアケアネットワーク</li> <li>・ 宮崎県がん対策審議会</li> <li>・ 宮崎県中央在宅緩和ケア推進連絡協議会</li> <li>・ 宮崎市市民活動支援センター</li> <li>・ 宮崎市在宅療養支援事業プロジェクト</li> <li>・ 「新老人の会」宮崎支部</li> <li>・ 宮崎長寿社会懇話会</li> </ul> <p>《学会や研究会への講師派遣》 市原美穂、久保野イツ子、堤育子、黒岩雄二</p>	
	総務部門 事務局業務の増加に伴い 事務局体制の強化を図る  理事会のもとに、「運営委員会」を置く。 運営委員：市原美穂 久保野イツ子 吉村照代 立川志乃 黒岩雄二 堤 育子 甲斐昌江  職員体制：事務局長1名 経理担当事務1名 総務担当事務2名	<p>① 会議の業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総会の開催（設立20周年記念総会） 期日：5月27日（日）午後1時から4時半 会場：暮らしの保健室</li> <li>・ 理事会の開催（年3回予定）</li> <li>・ 運営委員会の開催</li> <li>・ 事務局会議の開催</li> </ul> <p>② 会員管理業務</p> <p>③ 経理業務</p> <p>④ 労務管理業務 就業規則を見直し、適切な労務管理、 多様な雇用体制の検討</p> <p>⑤ 総務関連業務・・・届出等</p>	